

第 13 回きたひろしま都市型観光推進協議会 議事

- 1 日時 平成 30 年 1 月 26 日（金） 18 時 30 分から 20 時 00 分
- 2 場所 北広島市役所 1 階 多目的室 1
- 3 出席状況

NO	氏 名	職 業 等	出欠
1	山 田 久 俊	北広島市観光協会会長	欠
2	山 崎 悦 子	北広島商工会会員（行政書士山崎法務事務所）	欠
3	(副座長)千 葉 隆 一	札幌ゴルフ倶楽部 支配人	出
4	木 田 勝 彦	札幌北広島クラッセホテル総支配人	出
5	(座長)川 口 満 久	ホクレン農業協同組合連合会 管理本部販売推進部（くるるの杜）	出
6	三 上 太 一	三井アウトレットパーク札幌北広島所長	欠
7	三 浦 麻 衣	市民（会社員）	欠
8	善 甫 啓 太	市民（会社員）	出
9	山 田 基	北広島市経済部観光振興課長	出

きたひろしま都市型観光推進協議会事務局

所 属	役 職	氏 名
経済部観光振興課	主 査	青 木 潤
	主 事	千 葉 啓
	主 事	山 本 梢

傍聴者

人 数
0 人

4 議事録

1. 開会

事務局) ただいまから第 13 回きたひろしま都市型観光推進協議会を始めさせていただきます。

まず本日は、委員の過半数が出席されておりますことから、会議は成立していることを報告させていただきます。

それでは早速ですが、座長に進行をお願いいたします。

2. 議事

座長) それでは、13 回目の都市型観光推進協議会を始めさせていただきます。本日は、平成 29 年度の都市型観光推進事業の取り組みについて、事務局より説明をいただいた後、意見交換をさせていただければと思いますのでよろしくをお願いいたします。それでは事務局の方から説明をお願いします。

事務局) 資料に従いまして来年度の事業概要を説明いたします。

①北海道ゴルフツーリズムコンベンション 2017 は、ビジット・ジャパン地方連携事業により、北海道への外国人観光客の誘客のために、国と自治体、団体等が広域に連携により実行委員会を組織し、海外の旅行会社やメディアなどを招聘し、ゴルフ場・観光施設等の視察や商談会を実施するもので、今年で 2 ヶ年目の事業となっています。

構成団体は、北海道運輸局、苫小牧市、千歳市、北広島市、札幌市、北海道観光振興機構、北海道ゴルフ場支配人会、北海道ゴルフ観光協会となります。

今年度の開催地は苫小牧市で、オーストラリア、タイ、フィリピン、ベトナム、インドネシア、マレーシア、シンガポール、中国から計 21 社 21 名が参加されました。

開催期間は平成 29 年 8 月 27 日から 8 月 31 日までで、北広島市は 8 月 30 日の札幌リージェントゴルフ倶楽部、クラークカントリークラブで支配人からコースの説明を受けたり、アルトラーチェ、くるるの杜、ゴルフ 5、三井アウトレットパーク札幌北広島でお買い物されたりと、ほぼ 1 日北広島市を回られたということです。

招聘者の声としては、「くるるの杜の昼食は、野菜メニューが豊富であったため、非常に好評であった。」「ゴルフショップ・ゴルフ 5 ではウェアやアイアンセットなどの豊富な品揃えが好評であった。」などがあり、また、三井アウトレットパークでは横断幕によるお出迎えや、館内で利用可能な割引券の配布が行われるなどおもてなしをしていただきました。

②サイクルツーリズム等観光拠点整備事業についてです。まずは「台湾サイクリスト等インバウンド招聘」ですが、外国人観光客の誘客による交流人口の増加に向けて、エルフィンロードなどの地域資源を活用したサイクルツーリズムの推進のため、インバウンド招聘ツアー「台湾旅行エージェンツ・メディア ファムトリップ」開催するものです。

受託業者は「株式会社近畿日本ツーリスト北海道」で、被招聘者としては、台湾の旅行会社として中華民国自転車騎士協会、東南旅行社、富友旅行社の 3 社、メディアとして単車身活、行遍天下の 2 社にご参加いただきました。

実施期間は、平成 29 年 9 月 17 日から 9 月 20 日。17 日は到着後、札幌北広島クラッセホテルに直行し、交流会を行いました。18 日は当初、ツール・ド・キタヒロの第 4 回目にご参加いただく予定だったのですが、台風接近によりイベントそのものが中止になったため、車での市内視察に切り替えて実施しました。

19 日は実際に自転車に乗っていただいて、エルフィンロードから始まりくるの杜で昼食、エーデルワイスファームで軽食をとりました。サイクリングの後は竹山高原温泉で入浴後、市や市内観光事業者との意見交換会を行いました。

20 日は、自然の森キャンプ場の見学のほか、JR 北広島駅を見ていただいて観光案内板や導線の率直な意見をいただきました。その後は市役所 5 階展望デッキを見学して帰国していただきました。

実績については、今まとめているところですが、台湾の雑誌への記事掲載、ブログへの掲載などが行われました。将来的には旅行会社で自転車のツアー一造成までやって行きたいと考えているところです。

招聘者からの意見としては、体験メニューや花が好きということ。食と買い物は重要と考えていて、「一番印象に残っているものはなにか」という質問には、皆さん「くるの杜」の食事を挙げられていたかなと記憶しています。

なお、富友旅行社においては、来年に向けて北広島を起点終点とした北海道一周サイクリングツアーを検討しているそうですので、引き続きフォローして行きながら実現させていきます。

続いて、札幌駅前通地下広場（チ・カ・ホ）でのプロモーション活動です。平成 29 年 8 月 12 日（土）から 13 日（日）の 2 日間、札幌駅前通地下広場で観光情報の提供や VR 体験を実施し、本市のサイクルツーリズムの取り組みの認知度の向上を図るためのイベントブースを開設しました。

夏休み期間中ということもあり人通りも多く、土曜日は 92 名、日曜日は 70 名の方にご参加いただきました。

また、サイクルモードインターナショナル 2017（千葉県幕張メッセ）でもプロモーション活動を行っています。サイクルモードインターナショナルは、日本最大規模の自転車イベントで、その中の自転車旅エリアへブース出展を行いました。

入場料のかかるイベントということもあり、普段から自転車のアンテナといえますか、意識の高い方が集まる傾向にあると感じました。

実際に多くのメディアがブースに訪れ、インターネットテレビの「Abema.TV」の「AbemaPrime」からも取材もあり取り上げられたところです。

北広島市のブースでは 3 日間で約 300 名の方が VR 体験を行いました。全体の来場者数は 2 万 7 千人と伺っています。

続いて、ツール・ド・キタヒロです。

1 回目は平成 29 年 7 月 2 日で、参加者 36 名。2 回目は平成 29 年 7 月 23 日で、参加者 32 名。3 回目は平成 29 年 8 月 19 日で、少し落ちまして参加者 17 名。4 回目は先ほどありましており台風接近により中止となっています。

全体で 85 名の参加者となり、市外が 88%と、大体札幌がほとんどで、恵庭・千歳など近隣の方の参加になりますが、8 月の回では、愛媛県松山市から参加者がいらして、サイクルスポーツ 7 月号の北広島市特集を見て応募していただいたそうです。道外からも参加していただける方が今後も増やしてい

たいと考えています。

次にサイクルスタンドの設置です。今年で2年目の事業となりますが、昨年度の5箇所から8箇所に増やしまして、北広島市役所、旧島松駅通所、広葉交流センター「いこ～よ」、くるるの杜、アルトラチェ、エーデルワイスファーム、三井アウトレットパーク札幌北広島、北のシェフに設置いたしました。

昨年度から構成員の皆様からご指摘いただいておりますデザインの面ですが、木で作り少しおしゃれなスタンドでお店の雰囲気合う形にしています。5～6台止められるサイズです。

お店の方に聞くと、自転車で訪れる方も増えているとのことでした。

③きた北海道広域観光周遊ルート形成促進事業に係る「サイクリング・エコモビリティ観光推進事業」についてです。

観光庁では平成27年度から、訪日外国人を地方に誘客するため、テーマ性・ストーリー性を持った一連の魅力ある観光地をネットワーク化した広域観光周遊ルートの形成を促進し、海外へ積極的に発信する「広域観光周遊ルート形成促進事業」を進めておりまして、平成28年度に「きた北海道広域観光周遊ルート」が認定され、石狩管内の広域観光拠点地区として、札幌市、北広島市、千歳市を設定し、現況調査や3モデルコースの設定などを実施しています。

平成29年度については、4つの事業分類として、①事業計画策定・マーケティング、②受入環境整備・交通アクセスの円滑化、③滞在コンテンツの充実、④対象市場に向けた情報発信・プロモーションに分けて、これに基づいて各地域で事業を実施しているところで、この一環として「サイクリング・エコモビリティ観光推進事業」が行われました。

「サイクリング・エコモビリティ観光推進事業」とは、サイクリングを中心に、アウトドア志向の旅行者に対して、カヌーやハイキング等のアウトドア・アクティビティ、エコ・モビリティを楽しむ周遊観光を提案するもので、公共交通との組み合わせや各種レンタル、ガイドサービス等の受入環境づくりを推進するものです。

今回は「石狩・空知コース」というモデルコースをつくり、エルフィンロードを試走調査するために香港、シンガポールから3名メディアや旅行会社の方を招聘し、職員が同行しました。

10月18日から21日にかけて試走調査を行いました。そのうちの18日にJR北広島駅からエルフィンロードの試走を開始しました。時間としては16時くらいに北広島駅について、自転車の駅に寄り、厚別の緑地あたりまで試走していただきました。少し寒かったのですが、招聘者の意見としてはエルフィンロードの紅葉による景色は評価が高く、走りやすさや安全性の満足度も高いことがわかりました。

また、招聘者用に準備していた自転車がスポーツタイプ用であり、乗り慣れていない方には操作が難しくクロスバイクの方が良いといった意見がありました。

④さっぽろサイクルラボ自転車観光広域連携事業の「ピクニックライドにでかけよう！No.5北広島編」についてです。こちらは札幌市近郊の方向けの事業です。

主催である「さっぽろサイクルラボ」は、札幌市民のほか、道内外からの観光客やインバウンドを対象に、観光地“札幌”の新たな魅力を伝えるために、自転車、コミュニティサイクル、ベロタクシー及び公共交通等をミックスしたサイクリングコースの提供や、自転車観光ガイドの養成を実施することを

目指し、平成 27 年度から活動している団体です。

これまで札幌市内を中心としたサイクリングコースを 4 ルート造成してきましたが、平成 29 年度は、札幌近郊の自治体と連携によりコース（当別、北広島、恵庭）を造成し、9 月 23 日に北広島でツアーが開催されました。

参加者は 5 名、ガイド 3 名で計 8 名でのツアーでしたが、JR 北広島駅西口から出発し、知新の駅で学芸員によるマンモス制作の説明を受けたり、星槎道都大学付近にクロスラミナという珍しい地層を見学しました。その後は風味絶佳で昼食、北のシェフでお買いもの、猫のしっぽというカフェで軽食、くるの社でお買いもの、自転車の駅の見学など全 27km のコースを楽しんでいただきました。

参加者の意見をお聞きして、参加者にとっては、単に食や景色を楽しむだけでなく、まちの歴史や成り立ちを知ることなども、満足度を高める要素となることがわかったり、いちご狩り体験やブルーベリー摘み体験など、北広島の食と体験をからめたツアー内容とすることで、参加者の集客が見込まれるといった意見がありました。

⑤その他として、「北海道スポーツツーリズム戦略的誘客促進事業（サイクリング）現地プロモーション」です。

こちらは北海道観光振興機構の事業で、台湾インバウンド向けプロモーションとして、台北、台中セールスコール及びイベント PR を実施する事業について、昨年度に引き続き本市が参画したものです。

台湾のサイクリングイベント「建大タイヤ武嶺自転車大会」会場でのパンフレットの配布及び VR 体験などの観光プロモーションを実施した。また、セールスコールを通じ台湾旅行会社との意見交換を行い北海道へのサイクリングツアー造成による誘客のプロモーションを実施いたしました。

訪問先は、五福旅行社、東南旅行社、Lamigo 旅行社、台湾近畿国際旅行社、獅雄旅行社、ジャイアント旅行社、中天旅行社の 7 社です。それぞれの旅行会社が北海道へのサイクリングツアーに興味があるということで、セールスコールを行った次第です。

最後に、ツーリズム EXPO ジャパン 2017（東京ビッグサイト）への参画についてです。

ツーリズム EXPO ジャパンとは、日本観光振興協会、日本旅行業協会、日本政府観光局（JNTO）が連携し観光産業の未来を提示する展示商談会で、こちらに北海道観光振興機構が北海道ブースを展開しておりました。

北海道ブースでは「生（なま）HOKKAIDO」の魅力を発信とするフォトスポットの提供や魅力の疑似体験として 4 種の VR 体験を実施。

本市の取り組みとしては、パンフレットなどの観光情報の提供や北海道ブース内の LIVE スタジオでの PR イベントを実施し、商談会において、(株)JTB 国内旅行企画、ANA セールス(株)、(株)JTB ガイアレックの 3 社と観光資源や観光施設等について意見交換を実施しました。

来場者数が 20 万人と大型のイベントになりますので、パンフレットも早々に捌けてしまった状態でしたが、プロモーションとしての効果検証は今後考えていかななくてはといったところです。

今年度の取り組みの説明については以上です。

座長）自転車に係る事業が多かった年ですね。自転車を通じてまちの魅力を伝える取組みは良いと思い

ます。

事務局) セールスコールやプロモーションを行って行きましたが、特にイベント出展は、客層や反応を見て、効果などをシビアに検証しなくてはならないと考えています。

事務局) サイクルスポーツ7月20日号には、北海道特集ということで当市の記事の前後に富良野・美瑛や石狩の記事が掲載されています。当市については札幌からも新千歳空港もアクセスしやすいということ、エルフィンロードを中心として立ち寄りスポットのご紹介を掲載しています。

ツール・ド・キタヒロの情報も載せていますので、これを見て道外からも観光客が来てくれたということです。

このほか、横浜市の方からグループで参加したいということで開催予定のお問い合わせをいただき、道外の方からも少しずつですが情報が伝わり始めているのかな、と感じているところです。

○委員からの意見

- サイクルスポーツは自転車雑誌のなかでも全般的な雑誌なので、旅行に特化した売れ筋雑誌に広告を出してみてもどうでしょうか。道外からの観光客が増えてくると、リピーターの獲得に力を入れていくことになると思いますが、地元の方との交流だとか、地元しか知らない情報を出せるような雑誌の方が効果的だと思います。
- サイクルスポーツの掲載には経費はかかっていますか。
 - 広告料として125万円ほどかかっています。
 - 市役所からのアプローチということですね。
- ツール・ド・キタヒロに参加するだけでなく、北広島市での観光を楽しんでもらえるようにご提案や仕掛けづくりをしていけるといいです。
- 最近、台湾は国内旅行が盛んになってきました。国内を一周できる自転車ルートが整備され、自分たちのルーツを探るようなツアーが流行ってきています。このため、台湾から日本に自転車で来るにはもう少し時間がかかるかも。台湾へのセールスコールは継続して必要だと思います。
- 台湾へのセールスコールは北海道観光振興機構の事業と連携して行っているのですが、お金はあまりかからないので、別の事業にお金を集中投下して絞ってやっていく方が良いと思います。
- 今回の招聘事業では自然の森キャンプ場に行っているようですが、バーベキューはしていませんね。
 - していません。
 - 台湾人は肉が好きですが、日本のようなバーベキューをする施設が国内にないので作ってあげると喜ぶと思います。おしゃれじゃなくても良いです。
- 冬のサイクリングを北広島市でもやりましょう。雪のコースを市内で作ればクラッセホテルに宿泊する台湾人が絶対やりますよ。
 - 北広島市観光協会主催の北広島ふれあい雪まつりではイオンバイク札幌平岡店さんの協賛により冬にファットバイク等に乗れる体験スペースを提供します。スノーアクティビティは、三井アウトレットパークと組み合わせでも需要があると聞いていますので、事務局でも試験的に出来る場所を探して実施したいと思います。

事務局) どこから知っているのかはわからないが、自然の森キャンプ場にも外国人が300人くらい来ています。台湾の方がほとんどで、中国、香港、シンガポール、欧米からの宿泊もあります。

○委員からの意見

- 利用料が安いことが影響しているような気がします。
 - 値段を高くしても、キャビン等が整備された立派なオートキャンプ場があれば、もう少し高所得層の人も呼び込めます。
 - 由仁の古山オートキャンプ場にも11月になっても人がたくさん来ています。近隣に温泉もあるし、バンガローもあります。
- 自然の森キャンプ場が選ばれているのは、レンタカーの利用が多くなっていることや、たまたま空港への帰り道にあるから、とかがあるかと思います。
 - 来ている人には「北広島市」という認識はないと思います。
 - キャンプ場の管理人によると、前泊したホテルから予約が入ることもあり、ある程度運転や北海道旅行に慣れている人が利用していると推測できます。
 - 台湾人はそういうスタイルが多いです。
- 駐車場が狭いという問題も聞きます。
 - 海外からの旅行者相手だと特に、満車時の臨時駐車場の案内に苦慮しているそうです。
- 海産物に特化したスーパーが北広島市にもあれば、キャンプ場でのバーベキューの材料として購入するかと思います。ウニ、カニ、エビは食材として大量に買います。
 - 市内にも卸しをやっている事業者はいるが、小売りはしていません。
- キャンプ場の現在の運営はどうなっていますか。
 - 近隣の住民で組織された運営委員会に指定管理をお願いしています。翻訳機を自分たちで買い、常備されていますが運用はまだ上手くいっていない状況です。ナビゲーションを上手くやれば評価は変わってくると思います。
海外の方が現在も来ているのは間違いありません。

事務局) どの事業でも「くるるの杜」のお食事はとても評判が良いです。最近の招聘ツアーは、ほぼ「くるるの杜」で昼食をとらせていただいています。地元野菜をメインとしたメニューが充実しているのがとても評価が高いです。

座長) 野菜メインなんですけどね。台湾の方はお肉好きのようですけど。

事務局) 私もそういうイメージでしたが、台湾の方も美味しいと何度もほめていました。千歳市、恵庭市とのドライブルート造成のために、台湾のブロガーの方に2日間で千歳、恵庭、北広島を巡っていただきました。ブロガーの方は「くるるの杜」のインタビューの中で女性の従業員が多いというところに着目していました。

調理師免許を持っている男性のシェフが考えたレシピだけでなく、主婦のようなもともと家庭で料理をしていたスタッフの方が使いたい食材を冷蔵庫から自由に取り出しメニューを作っていると聞いて、面白く聞いていました。

座長) 天ぷらなどの定番のものは調理師の方で毎日の仕入れは行っていますが、そのほかに毎朝、調理スタッフで「くるるの杜」の直売所に向かい、直売所から自分の使いたいものや珍しいものを持ってきて料理をしているようです。

レストランを開業してしばらく経つものですから、働きながら調理師免許を取得する人が3人も出てきました。

事務局) そういうことを伝えていけると違う感覚で食事が楽しめると感じました。

事務局) チーフの方に聞くとインバウンドも増えている実感はあるようです。ANAで「くるるの杜」のCMを流しており、それ見てくるインバウンドもいるのではないかとのことでした。従業員への英会話レッスンなどはしていますか。

座長) インバウンドへの対応は、今年から月に1度くらいは英会話のできる社員から習う予定はあります。台湾やシンガポールにも販売拠点がありますので。実は韓国からの視察が年間440人来ていて、視察者を連れてくるツアー会社が気に入ってくれて、観光客を連れてくるので韓国語も分かったほうがいいのではないかという話も出ています。

委員) 韓国はLCC、直行便も増えていますね。

座長) 当初は道外の農協の関係者や行政が多かったのですが、3年くらい前から現在は韓国をはじめ海外からが多いです。旅程は2泊3日くらいで、札幌や付近の温泉地も巡っていると聞いています。

委員) 札幌市と新千歳空港の間にあるから、視察先として選ばれやすいのかもしれませんが。

シンガポール、香港は英語が喋れますが、韓国は韓国語だけ、中国も大陸側は中国語だけなので、英語だけでの対応は難しいですね。

委員) 民泊が始まるのはまだまだこれからだと思いますが、ホテルのような宿泊施設じゃなくて、自分で調理をして長期滞在できるような、海外対応した民泊施設がこの辺りにはないからやって欲しいと周りから言われています。

事務局) 当市の民泊の状況をご説明しますと、3月15日から民泊事業者の募集が開始され、6月15日から住宅宿泊事業法が本格的に施行されます。北海道では、札幌市を除く市町村に適用される「住宅宿泊事業の実施の制限に関する条例」が制定される予定です。

各市町村が法令で定められている年間提供日数の上限180日の規制をかけるような内容となっており、概ね周辺の市町村も住宅地などは規制する流れできています。

○委員の意見

- 空き家対策も兼ねてはどうですか。民泊じゃなくても空き家を活用してみてもいいのでは。

- 民泊については次回にでも詳しく説明いたします。

委員) きた北海道周遊ルートは制度が変わると聞いています。

事務局) 「形成促進事業」という事業を一旦なくして他の事業2つと合体させるようです。DMOの設置を義務付けると説明を受けました。今までは自治体、観光協会、事業者で協議会を設置して、それぞれの地域で実施する事業と、国の事業にかかる経費を合算して国半分、自治体半分の負担だったのが、DMOを設置させてその事業にかかる補助金をだんだんと減らしていき最終的には自立するような計画でいると聞いています。

委員) 昨年立ち上がったばかりなのですがね。ひがし北海道はバスツアーの乗車率等がたまにニュースに取り上げられる。道南は函館周辺が回遊されているが、北と東はまだ回遊されていないです。

委員) 少しずつですが、道東のアドベンチャーツーリズムの勉強会に参加しました。カヌーなどの安全管理や責任説明が必要なコンテンツは、言葉が通じないと難しいとのことでした。このため、海外から日本に来て旅行を楽しみながら仕事をする、所謂「ワーキングホリデー」の人材を活用したいという団体が多くいました。

言葉の問題がある場合はそういった人材派遣を利用して海外からの人材をうまく活用してはどうでしょうか。北海道では観光の面で人材不足が目立っています。台湾人であれば中国語も英語も話せますので。

先ほどの民泊で触れましたが、ワーキングホリデーの宿泊場所も不足しています。

○委員からの意見

- ゴルフのキャディなどの観光人材は不足していると聞いています。
 - 若い人はやりたがらない印象があります。ゴルフ場の人材は不足しています。本州のように通年で雇用できれば若い人も入ってくるが、北海道だとそうもいかない。海外からの労働力に頼らざるを得ない状況にあります。
 - 北広島市のゴルフ場は特に人材がなかなか辞めないのが確保しにくいですね。
- 前任のニセコのホテルは海外の労働力に頼らないとベッドメイクや客室清掃もままならない状況でした。

座長) 短期間である強みを生かしてそれこそワーキングホリデーを活用するべきですね。

事務局) 今回は平成29年度の事業ということで、自転車やインバウンドに偏った内容にはなりましたが、今日出たお話を次回に繋げていきたいと考えています。

最後に平成30年度の事業のご紹介です。平成29年度から引き続き、さっぽろサイクルラボ主催のピクニックライドが今年も開催予定です。今年も札幌市近郊の市町村でコースを組んでいます。今年は5月から10月にかけて月に2回開催します。

北広島市は、5月12日にいちご狩りツアー、8月25日に歴史ツアーを予定していますので、事務局

でも支援していきたいと考えています。

○委員の意見

- いちご狩りなら早くても6月下旬くらいなのではないでしょうか。
 - 路地でいうと、6月中旬から7月下旬にかけてです。この時期だとくるの杜等ビニールハウス栽培になるかと思います。
 - 「くるの杜」では5月はいちご狩り可能です。近隣のいちご農園と時期をずらしています。
- この時期ならアスパラ狩りもいいですね。
- コースやツアー内容的にも札幌市民向けですね。
 - 参加者が普段は車で通っている場所の歴史や背景を知ることができてとても喜んでくれました。いちご・ブルーベリー狩りも今年こそやってみたいというお話しがあり、モデル的に実施するものです。この価格設定やコースで持続可能なパッケージになるかどうかを検証しなくてはならないし、ガイドの質の問題や、安全管理なども制度として熟成させなければいけません。
- こういうのはポタリングといいますよね。
 - ポタリングマップもさっぽろサイクララボで作成しています。最初は札幌市内で軟石を巡るようなまち歩きツアーのようなものでしたが、今は範囲を広げてやっています。

委員) サイクルスポートに載るとか、Abema TVに出るよ、と予告してくれると連携して事業ができると思います。3月に台湾に行くのでパンフレットを配布することも出来ます。事務所にパンフレットを置くこともできます。

事務局) サイクリングマップを多言語化したものを現在印刷中なので出来上がり次第お送りいたします。イベントの開催も含めて、構成員の皆様には事前に情報をお出しするようにします。

事務局) 次回の協議会は別途日程調整します。

座長) あとは他に何かありませんか。なければ閉会にしたいと思います。

3. 閉会

座長) これをもって閉会とさせていただきます。お疲れさまでした。